

平成24年6月27日
航空局安全部航空機安全課

ボーイング式747-8F型航空機に対する型式証明書の交付について

米国の航空機メーカーであるボーイング社(The Boeing Company)より、平成20年8月18日付けでボーイング式747-8F型航空機に対する型式証明[※]の申請がありました。同申請に対し航空局において所要の審査が終了したため、以下のとおり航空局安全部長よりボーイング・ジャパン社長マイケル・デントン(Michael Denton)氏に対して型式証明書の交付を行いますのでお知らせいたします。

日時： 平成24年6月27日(水) 15時30分より
場所： 国土交通省7階 航空局安全部長室
取材： カメラ撮り可

(注) 撮影をご希望の方は15時20分までに7階エレベーターホールにお集まりください。

(※) 型式証明とは、航空法第12条の規定に基づき、航空機の種類(型式)毎に、その設計及び製造過程が安全性及び環境適合性の基準を満たしていることを証明するもの。

型式証明を受けた種類の航空機は、航空法第10条第5項第1号に基づき、航空機1機毎の耐空証明検査において、検査の一部が省略される。

問い合わせ先:

国土交通省航空局安全部航空機安全課
山田(50213)、長谷(50216)
代表 03-5253-8111
直通 03-5253-8735
FAX 03-5253-1661

(参考)

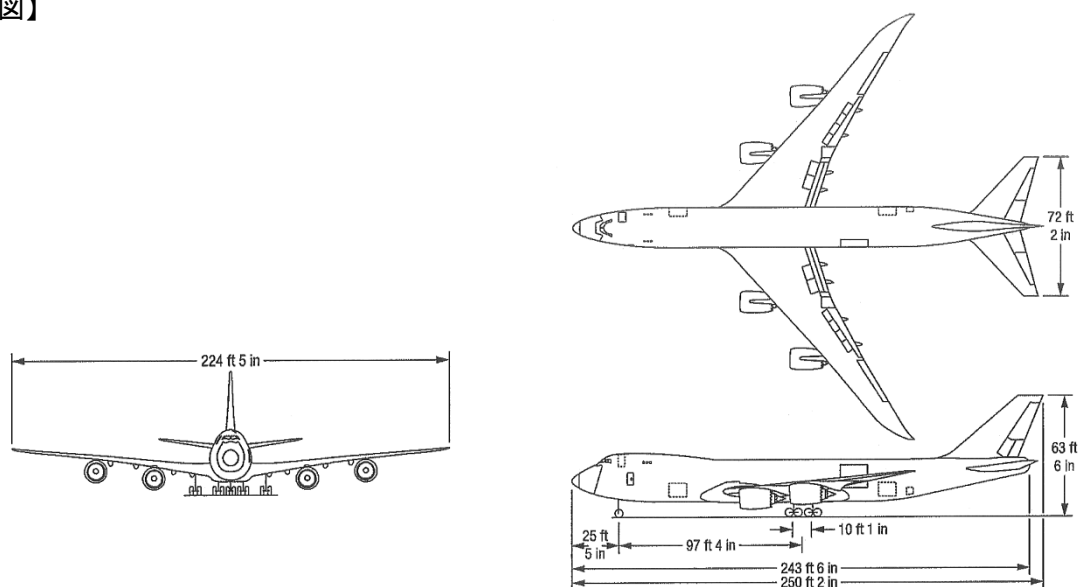
ボーイング式 747-8F 型機の概要

ボーイング式 747-8F 型飛行機は、ボーイング式 747-400F 型を改良し、最大離陸重量等の増加、胴体構造の延長、新型エンジンの装備した貨物機である。主要諸元、三面図及び我が国への導入計画は以下の通りである。

【主要諸元】

	747-8F 型	747-400F 型
全長	76.3 m	70.7 m
全幅	68.4 m	64.4 m
全高	19.4 m	19.0 m
最大離陸重量	442,255 Kg	394,500 Kg
発動機	General Electric 式 GEnx-2B67 型 又は、GEnx-2B67B 型	General Electric 式 CF6-80C2B1F 型
最大巡航速度	Mach 0.9	Mach 0.9
最大運用高度	12,810 m	13,750 m
最大航続距離	8,275 Km	7,850 Km

【三面図】



【我が国への導入計画】

日本貨物航空株式会社が 14 機発注しており、初号機については、平成 24 年 7 月下旬に受領し、8 月中旬より路線へ投入する計画。